



2026年3月31日

各 位

会社名 JUKI株式会社
代表者名 代表取締役社長 成川敦
(コード番号 6440 東証プライム市場)
問合せ先 総合企画部
(TEL 042-357-2211)

「当社取締役会の実効性に関する評価」結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を確保し、機能向上を図ることを目的とし、2025年度の「取締役会の実効性に関する評価」を実施いたしましたので、その結果概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

取締役6名・監査役3名に対して自己評価の趣旨等を説明の上、以下の項目を内容とするアンケートを実施しました。

- (1) 取締役会の構成
- (2) 取締役会の運営
- (3) 取締役会の審議
- (4) 取締役会を支える体制

また評価の精度を高めるため、併せてアンケート実施後にインタビューを実施しました。その内容を分析した上で、「取締役会の実効性に関する評価」を行いました。

2. 分析・評価結果の概要

全体として「取締役会の実効性」の確保は認められたものの、更なる機能強化に向けた改善点も確認いたしました。

(1) 取締役会の構成

取締役会の人数・多様性・社外取締役の割合は適切であると評価されました。一方で、製造業の専門性を有する社外取締役の選任を期待する意見や、将来の取締役会の構成を踏まえて、戦略的な経営幹部候補の育成をしていくべきとの意見が複数ありました。

(2) 取締役会の運営

開催頻度、および審議時間は適切であり、以前より資料の質・量、および事前提供のタイミングの改善がされていると評価されました。一方で更なる改善の余地があるとの指摘もありました。

(3) 取締役会の審議

付議事項の数、内容、審議時間は適切であり、以前より自由に発言できる雰囲気が醸成されていると評価されました。一方でより戦略的なテーマに関する審議時間の確保・拡充を求める意見も複数ありました。

(4) 取締役会を支える体制

情報交換の機会、事業の理解を深める機会は適切であると評価されました。今後に向けては、より深く事業の理解を深めるために、取締役会以外の場での社外役員と様々な層の社員との対話の機会を期待する意見が複数ありました。

3. 今後の課題

今回の「取締役会の実効性に関する分析・評価」を踏まえ、下記取り組みを行ってまいります。

- ・新たに就任した社外取締役2名を加えた新体制によるガバナンス強化
- ・将来の取締役会構成を見据えた経営幹部候補の戦略的な育成
- ・資料の質・量や事前提供タイミングの更なる改善
- ・より戦略的な議論にポイントを絞るための体制・環境の整備
- ・取締役会以外での、社外役員と様々な層の社員との定期的な対話の機会創出

これらの改善を積み重ねることで、取締役会の実効性を更に高め、ステークホルダーの皆さまから信頼されるガバナンス体制の強化と企業価値の向上に努めてまいります。

以 上